

2020年 トップに聞く

大成ロテック

西田 義則社長



19年を振り返って

中期経営計画の2年目であり、最終目標達成に向けた大切な年であった。その中で、コンプライアンス問題を受け、工事業は、売上高は手持

ち工事、繰り越し工事もあり、前年度に比べ1割増となるが、利益面では厳しい状況にある。製品事業においても、原油価格の高騰が戻り切っておらず、運賃の上昇等もあり、利益面では非常に厳しい状況になっている。

20年の展望

中期経営計画を達成すべく、昨年以上の目標を掲げたい。もちろん間違っても二度とコンプライアンスを犯すことはでき

ない。これが前提であり、これを絶対に守るといって文化をしっかりと定着させる年でもある。

引き続き「持続的成長」のスローガンのもと、本

いきたいと思っている。そういった技術開発に力を入れていく。製品事業では、水で固まる「TRミックスアーク」など取扱

製品の幅を拡げ、売上高

組織改革

現在の事業所制度を見直す。事業所にあった機能を現場、支社あるいは

海外事業

中国は順調に推移している。それにプラスということで、ベトナムに昨年4月現地法人を立ち上げた。この4月にハノ

本業を成長、新規事業拡大

業の事業の成長と新規事業の拡大をさらに深化させていく。本業の工事業では、働き方改革、生産性革命を進め、近い将来には無人化までもって

の拡大につなげていく。新規事業では、再生エ

本社に割り振って組織をシンプルにする。これに

場で開催されるF1の会場となるサーキット場建設の技術指導、支援を行っている。日本の技術をもつて、ハノイだけでなく、ベトナム全土に貢献

業の拡大をさらに深化させていく。本業の工事業では、働き方改革、生産性革命を進め、近い将来には無人化までもって

水力発電の調査等を開始しており、20年度の着工をを目指す。またバイオマ

管理それぞれの責任と権限を明確化し、業務改善や効率化、迅速化を達成

したいと思っている。4月からスタートしたい。